ALPINE
Mobile Media Solutions
環境・社会報告書
2006
Sustainability report
アルパイン株式会社

目　次

ごあいさつ・企業理念 ……… P3

環境報告

環境方針・環境マネジメント推進体制 ……… P4

2005年環境取組み計画と実績 ……… P5

製品の環境保全取組み ……… P6
- はんだ鉛フリー製品の開発
- カーナビゲーションシステム
- 梱包/包装材の削減
- 小型軽量化
- グリーン調達
- 水系塗料の採用
- 製品含有物質の管理

事業所の環境保全取組み ……… P9
- ゼロエミッションへの取組み
- 土壌汚染・水質汚染防止
- 騒音対策
- 地球温暖化防止
- リスク管理

環境監査・会計 ……… P12
- 環境監査
- 環境会計

海外取組み事例紹介 ……… P13
- 中国
- タイ
- メキシコ
- 欧州

環境コミュニケーション ……… P16
- 環境教育・啓発
- 情報開示

社会報告

地域社会への貢献 ……… P17

お客様との関わり

従業員との関わり

コンプライアンスへの取組み

皆様からの声 ……… P21
- 本報告書の発行にあたって

サイトデータ

報告書の範囲

●対象範囲：特に断りの無い限り、下記の通りです。

①アルパイン株式会社　いわき事業所
②アルパインマニュファクチャリング株式会社　本社/好間工場
③アルパインマニュファクチャリング株式会社　小野町工場
④アルパインプレシジョン株式会社
⑤大連アルパイン
⑥太倉アルパイン
⑦アルパイン中国開発センター
⑧アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ
⑨アルコム・メキシコ
⑩アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパ

●対象期間：2005年4月1日～2006年3月31日

会社概要

商　　号 ── アルパイン株式会社

本　　社 ── 〒141-8501
東京都品川区西五反田1-1-8

電　　話 ── (03) 3494-1101 (大代表)

設　　立 ── 1967年5月10日

資 本 金 ── 259.2億円 (2005年度末現在)

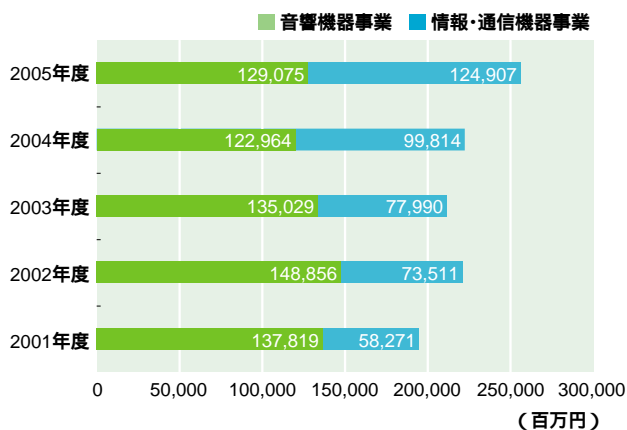
代　　表 ── 取締役社長 石黒征三

事業内容 ── カーオーディオ、カーナビゲーション、他カーエレクトロニクス関連製品の製造販売ならびにこれらに関するサービス

カーオーディオ製品（ヘッドユニット）
CDA-9857Ji

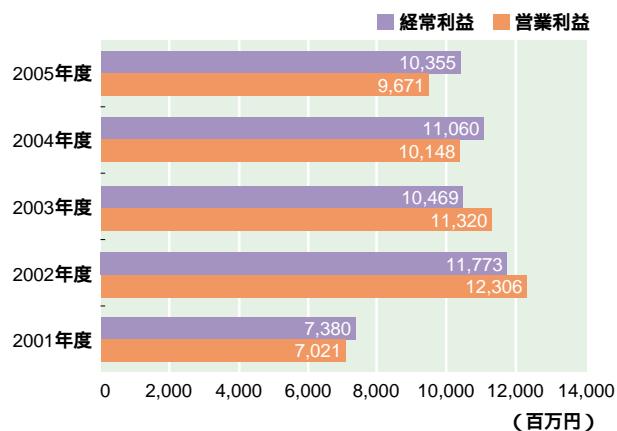
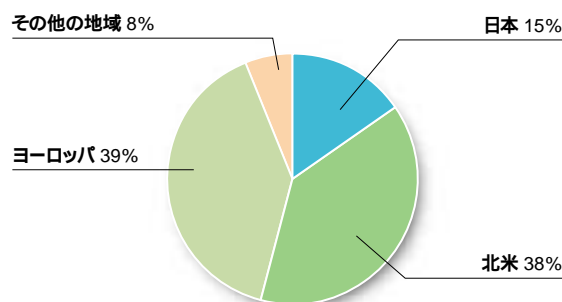
カーオーディオ製品（アンプ）
PDX-1.1000

カーナビゲーションシステム
INA-HD55

連結売上高

連結業績（営業利益／経常利益）

2005年度地域別売上高比率（連結）

ごあいさつ・企業理念

環境・社会と共存するグローバル企業をめざして

　アルパインは創業以来、企業理念の一つに「社会への貢献」を掲げ、品位ある製品の提供を通じて、明日の豊かな社会作りに貢献することを目指し、カーオーディオやカーナビゲーションをはじめとするモービルマルチメディア製品を世界中の自動車メーカーやお客様にお届けしてきました。

　私は、メーカーとしての企業の責務は、環境保全という点も含めて、お客様に満足いただける製品を開発、製造することであると考えています。そのため、当社では車載専業メーカーとしてこれまで培ってきた独自のコア技術を活かし、環境配慮型商品の開発、鉛フリーへの取組み、グリーン調達など環境に配慮したものづくりを行っています。これらの取組みにおいては、お客様やお取引先の多大なるご理解、ご支援を賜りました。この場をお借りし、お礼申し上げます。

　また、本年度より、活動報告を「環境報告書」から「環境・社会報告書」へと変更し、ゼロエミッションをはじめとした環境活動だけでなく、地域社会、コンプライアンス、お客様との関わりなどについても報告致します。

　さらに、本年度より全社組織としてCSR委員会を発足させ、事業活動と社会貢献活動を統合させた取組みをより一層強化していくことと致しました。

　アルパインはアルプスグループの一員として公共的・社会的使命を果たすべく、健全で効率的な企業活動を今後も推進してまいります。

　本報告書を是非ご一読いただき、引き続き当社の環境、社会への取組みのご理解と、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2006年6月

取締役社長

石黒征三

企　業　理　念

アルパインは、人々の心を大切にし、仕事の質を高め、
活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

1.「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、人を育て、
人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2.「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、
人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3.「社会への貢献」

アルパインは品位ある商品の提供を通じ、明日の豊かな社会作りに貢献します。

環境方針

アルパインは創業以来の「企業理念」に基づき、
1998年に「環境方針」を制定し環境保全活動の本格的な取組みを始めました。
現在の「環境方針」は2003年に、環境保全活動の更なるステップアップを図る為に、改訂制定されたものです。

環 境 方 針

基 本 方 針

私たちは地球社会の一員として、自らの責任において、
「はやい」「かるい」「みえる」活動を行ない、環境対策と経営効率の両立を目指します。

行 動 指 針

1.「はやい」ニーズへの対応

①国内外の法規はもとより、自らの責任において基準を定め、これを遵守する。
②広く社会に目を向け、環境保全に関するお客様や社会の期待を把握し、それに応える。

2.「かるい」事業活動

①軽量化、化学物質の削減、分解性の向上等により、環境や安全に配慮した製品を開発する。
②汚染予防、省資源、リサイクル、廃棄物削減等を通じ、環境負荷の軽い事業所を構築する。

3.「みえる」コミュニケーション

①環境教育を通じ全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりの自発的活動を支援する。
②環境取組みの積極的な公開に努め、社会との調和を図る。

4.環境保全体制と運用

①全社的な環境保全体制を整備し、継続的改善や技術革新を推進する。
②具体的目標を定めた計画を作成し、その達成の為に必要な経営資源を割り当てる。

2003年4月1日制定
取締役社長　石黒 征三

環境マネジメント推進体制

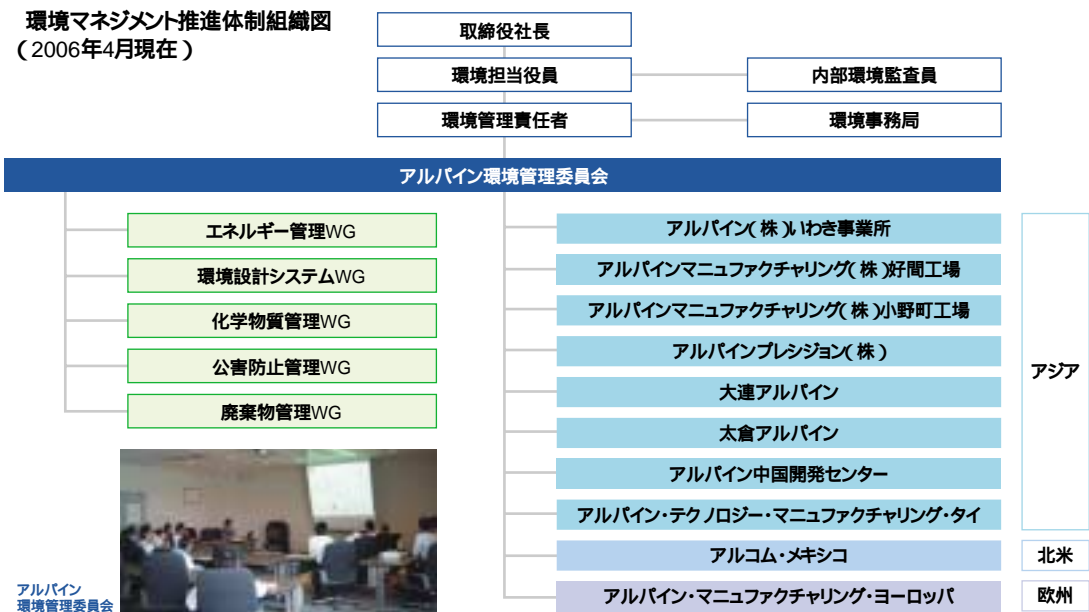
アルパインは1997年、アルパイングループ全体における環境問題への対応を審議し、
統括する最上位機関「アルパイン環境管理委員会」を設置しました。また、昨今の複雑化する
環境問題に対応する為、各分野の専門家を集めた「環境管理ワーキンググループ(WG)」を設置しました。

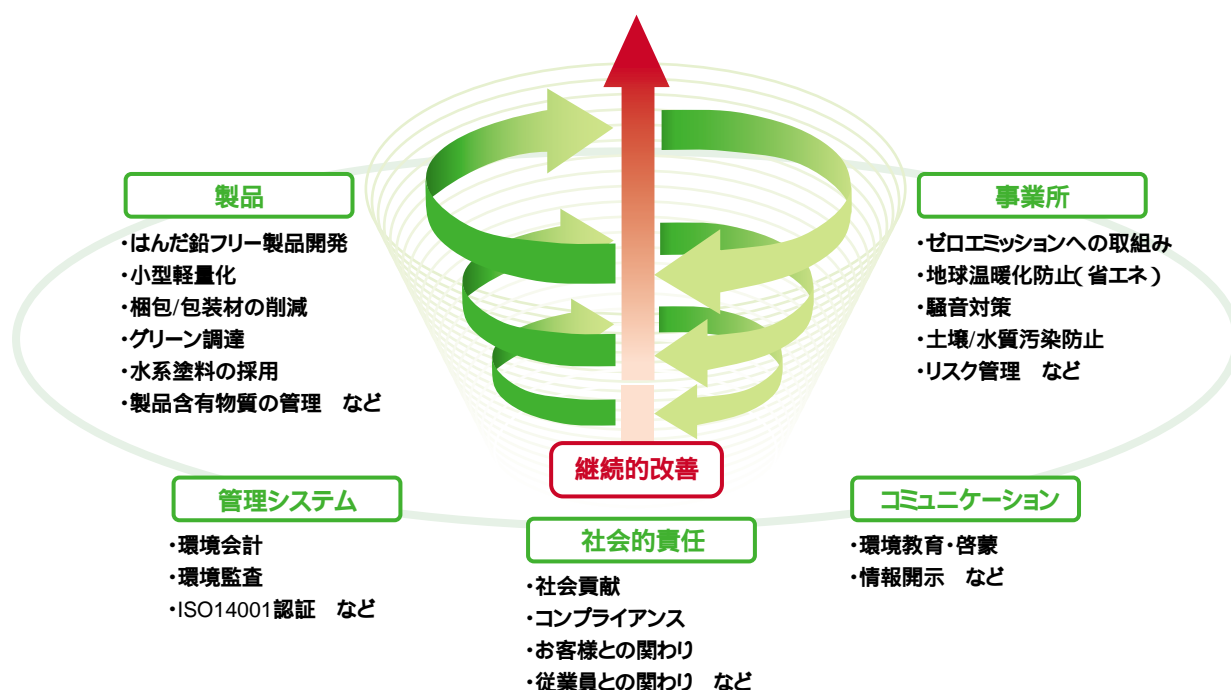
■ 環境マネジメント推進体制組織図
(2006年4月現在)

アルパイン環境管理委員会

- エネルギー管理WG
- 環境設計システムWG
- 化学物質管理WG
- 公害防止管理WG
- 廃棄物管理WG

事業所	地域
アルパイン(株)いわき事業所	アジア
アルパインマニュファクチャリング(株)好間工場	アジア
アルパインマニュファクチャリング(株)小野町工場	アジア
アルパインプレシジョン(株)	アジア
大連アルパイン	アジア
太倉アルパイン	アジア
アルパイン中国開発センター	アジア
アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ	アジア
アルコム・メキシコ	北米
アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパ	欧州

アルパイン
環境管理委員会

2005年環境取組み計画と実績

製品、事業所、管理システム、コミュニケーション、社会的責任の5つの観点から特に注力するべき課題を挙げ、改善活動を行っています。2005年の取組み目標と結果を下記表にまとめました。2005年は一部に目標を達成できない項目が残りましたが、総じて改善を進めることができました。

目的	目標	2005年度目標	2005年度実績	達成度	
地球温暖化防止	CO_2排出量の削減（省エネルギーの推進）	2004年度電力使用量原単位比 1%削減	2004年度電力使用量原単位比 7.5%削減	○	※1
廃棄物削減	ゼロエミッション	ゼロエミッション達成継続	ゼロエミッション達成継続	○	※2
環境に優しい製品の開発	環境に優しい部品の整備	部品含有物質情報の整備 10000件	部品含有物質情報の整備 10161件	○	
	梱包材の改善	環境配慮型梱包の適用モデル拡大	環境配慮型梱包の適用モデル 215モデル以上	○	
	製品の軽量化	軽量メカニズムの開発	軽量メカニズムの開発　2モデル	○	
	VOCの削減	低VOCメカニズムの開発	低VOCメカニズムの開発　3モデル	○	
		低VOC製造補助材料の開発	量産モデル適用に至らず	△	
環境管理体制の整備	含有化学物質管理体制の確立	4大化学物質現物測定体制の構築（水銀、カドミウム、鉛、6価クロム）	4大化学物質現物測定体制の構築（水銀、カドミウム、鉛、6価クロム）	○	
	環境マネジメントシステムの構築	ISO14001:2004年版への移行	ISO14001:2004年版への移行完了	○	
化学物質の削減	工程におけるVOCの削減	IPA使用量2004年度比5%削減	IPA使用量2004年度比20%削減	○	
情報公開の推進	環境報告書の発行	環境報告書の発行（6月）	環境報告書の発行（6月）	○	

※1 電力消費量原単位 ＝ $\frac{\text{電力総使用量}}{\text{連結売上高}}$

※2 ゼロエミッション ＝ 再資源化率99.7%以上。

製品の環境保全取組み

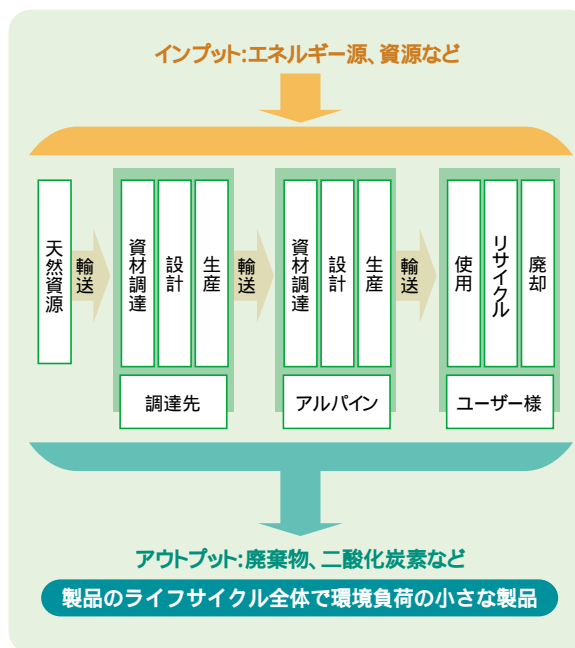
当社は製造業を営む企業の責任として、
自らが製造・販売する製品が環境に与える影響を軽減することを重要視しております。
材料の選定から輸送の方法、製造工程、お客様が使用する段階など
製品のライフサイクル全体を考慮した製品開発を進めています。

はんだ鉛フリー製品の開発

アルパインは環境や人体への悪影響が懸念される鉛を削減する為、2002年から、特別プロジェクトを発足し、はんだの鉛フリー化に取組んできました。2003年、北米向けCDプレイヤーを初めての鉛フリーモデルとして販売、2005年に開発したモデルのほぼ全てに鉛フリーはんだを採用しています。今後も全製品の鉛フリー化を目標に開発を進めます。

鉛フリーはんだ工程

はんだ鉛フリー製品

■ 環境配慮型製品開発の概念

カーナビゲーションシステム

車で旅行に出かける際、道に迷って無駄に走ると、それだけ燃料を消費し、CO_2を排出します。

アルパインはより高性能のカーナビゲーションを開発し、ドライバーを目的地にスムーズに道案内することで、快適かつエコロジーなドライブに貢献しています。最新のモデルでは膨大な渋滞情報のデータベース等から最適ルートを探し出す機能等、新しい技術を数多く搭載しています。

カーナビゲーション

梱包/包装材の削減

製品の梱包/包装材は製品をお客様にお届けした後、すぐに廃却されるケースが多く、廃棄物増加の要因となります。このような梱包/包装材を削減する為、アルパインは、より環境に配慮したソフトダンボール梱包の導入を進めております。2005年は、従来難しかった、比較的重量の重い製品の梱包材をソフトダンボール化すると同時に、梱包箱のサイズを小型化するなどして、梱包廃棄物の削減や製品輸送効率の向上を図りました。

ソフトダンボール
梱包

小型軽量化

アルパインの製品は車載機器である為、その重量が車の燃費に影響を与えます。当社の製品を軽くすることで、お客様の車の燃費の向上に貢献できると考えます。

スピーカー製品

特に、磁気回路に独自の技術を盛り込んだDDLinearスピーカーシリーズは、高音質でありながら、重量という点で環境にも配慮した優れたスピーカーとして大変高い評価をいただいております。

DDLinearスピーカーの構造

アンプ製品

PDX-1.1000は同等機能を有する従来モデルと比較し、体積で38%小型化、重量では32%軽量化に成功しました。音質に対しても高い評価をいただいています。

アンプ（従来）　アンプ（新型）

製品の小型化により梱包材（写真右）も小型・少量化

DVDメカニズム

製品に搭載するメカニズムは製品のサイズや重さを決定付ける重要な基幹部品です。

新世代のDVDメカニズムは従来のモデルに比べ、体積、重量共に約15%小型軽量化することに成功しました。このような小型軽量化技術は、当社のさまざまなモデルに採用されています。

妥協なき音質と環境性能の追求で業界トップレベルの小型軽量化に成功。

サウンドシステム製品開発部
中村清志

アンプの開発にあたっては、環境配慮、音質、デザイン等さまざまな観点から設計を検討しました。環境配慮の為、小型軽量化するにあたっては、部品の高集積を進める必要があり、回路からの発熱や高集積化による音質への干渉が、障害になりました。それらを抑制する為、新技術を投入した回路設計や部品の選定には大変苦労しましたが、従来モデルと同等以上の性能で、38%小型化することができました。この性能でここまで小型化した例は世界を見渡しても、少ないと自負しています。

堅牢、高放熱性を兼ね備えた小型軽量ボディ。デザインも好評をいただいています。

意匠製品開発部
佐藤　誠

私はアンプの外装部分の設計を担当しました。回路設計で発熱を抑制する一方で、外装の設計においては、どうしても発生してしまう熱をいかに効率的に放熱するかという点がポイントになります。このアンプについては、放熱に優れた素材や形状を一から検討しなおし、また、振動や温度変化など、車室内の苛酷な使用環境にも耐えうる、堅牢性にも優れた構造になっています。
お客様からも小型軽量化、音質、デザインに優れた製品として、高い評価をいただいております。

さまざまなモデルに使用されるからこそ、徹底的に軽量化。

メカ製品開発部
安部圭介

メカニズムは、お客様が鑑賞するDVDやCDソフトを正確に再生するための非常に重要な基幹部品です。また、共通のメカニズムがさまざまなモデルに搭載されるため、多くの当社製品の重量や大きさに影響を与えます。新型の小型軽量メカニズムの開発にあたっては、DM（デジタルマニュファクチャリング）というシステムを構築し、シミュレーション技術をフルに活用し、小型軽量でありながら、従来メカニズム以上の性能を発揮できるよう開発を行いました。その結果、過酷な車載環境においてもDVDやCDを正確かつ高品質に再生可能なメカニズムに仕上げることができました。2006年度は、このメカニズムを搭載した製品が数多く発売される予定です。

グリーン調達

アルパインは2002年に「グリーン調達基準書（初版）」を発行して以来、資材調達先との環境面でのパートナーシップを強化してきました。

2005年は「グリーン調達基準書（第4版）」を発行し、部材に含有する化学物質の管理について改めて協力を要請いたしました。2002年以来の継続的な資材調達先の協力により、特定の有害物質を含有しない製品開発が可能となっています。

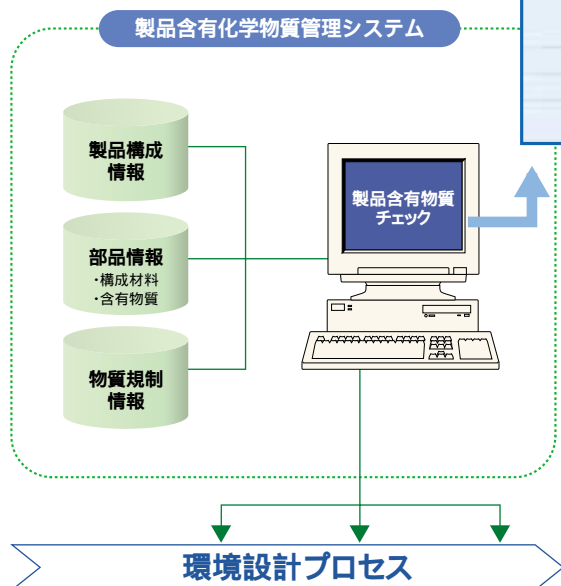
アルパイングリーン調達基準書(第4版)

水系塗料の採用

アルパインはシックハウス症候群の原因とされる揮発性有機化合物（VOC）の発生を防ぐ為、塗装用の塗料に水系塗料の採用を始めました。水系塗料を採用するにあたり、新規の塗装設備を導入すると同時に、塗料メーカーとの最適塗料の開発や塗装技術を開発しました。

色調や塗装の耐久性などを考慮しつつ、水系塗料の採用を進めています。また、水系塗料を採用していないモデルについても、徹底した品質改善による歩留まり向上の結果、塗料の使用量を大幅に削減することができました。

水系塗料の塗装設備

製品含有物質の管理

製品に含有する物質を即座に調べることが可能。

蛍光X線分析装置
鉛やカドミウムなどの有害物質を分析可能。

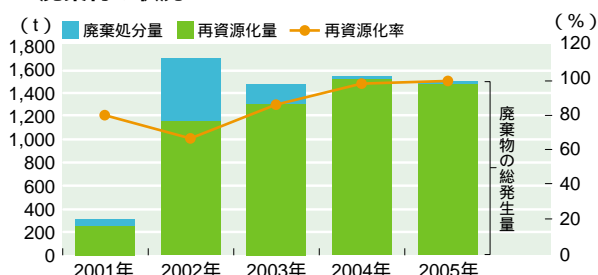
近年、欧州廃自動車指令（ELV指令）や特定有害物質使用制限指令（RoHS指令）といった、製品に含有する化学物質に関する規制が強化されてきております。

鉛などの重金属は製品を作る為には有用であっても、環境汚染や人体への影響が懸念される有害化学物質です。当社はこのような有害化学物質の使用を削減、廃止する為、調達資材や開発中製品に含有する有害化学物を管理するデータベースを構築し、設計段階から含有物質への配慮をしています。また、万が一の有害化学物質の混入を防ぐ為に、資材の含有物質を測定する分析装置を導入し、検査体制を構築しています。2005年度はその分析装置を2台追加導入しました。

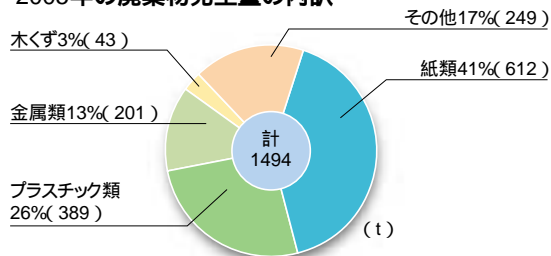
事業所の環境保全取組み

当社は、いわき事業所にて2001年4月よりゼロエミッション活動を開始し、
その後、アルパインマニュファクチャリング、アルパインプレシジョンへと活動範囲を広げ、
グループ全体での廃棄物削減に取組んでおります。

ゼロエミッションへの取組み

廃棄物の状況

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
再資源化量(t)	289.6	1,145.1	1,297.3	1,488.7	1,487.4
廃棄処分量(t)	67.3	537.6	183.3	26.1	6.8
再資源化率	81.1%	68.1%	87.6%	98.3%	99.5%

※2001年はいわき事業所のみのデータ。
2002年以降はアルパインマニュファクチャリングとアルパインプレシジョンを含むデータ。

2005年の廃棄物発生量の内訳

リサイクルマシーン
使用済み用紙は
緩衝材として再利用。

緩衝材

ゼロエミッションの達成

アルパインは2001年にゼロエミッションの取組みを開始し、廃棄物の分別収集施設「エコステーション」を設置しました。以来、従業員一人一人が分別を徹底することで、再資源化を図ってきました。

2005年3月単月でゼロエミッションを達成し、2005年度は通年で再資源化率99.5%を達成しました。

エコステーション

社内の食堂で発生する生ゴミを肥料化しリサイクルする「生ゴミリサイクルマシーン」を導入しています。
作り出された肥料は近辺の農場での有機野菜栽培に有効活用されています。

生ゴミリサイクルマシーン

処理後

農場

ゼロエミッション達成。次の課題はリデュース。

廃棄物管理WG 生産技術部　鈴木文雄

2005年3月に単月でゼロエミッションを達成して以来、2005年は年間を通じて再資源化率を高い水準で維持することができました。従業員一人一人のゼロエミッションへの意識が定着してきた結果だと思います。2006年1月に開催された福島県ゼロエミッション活動提案コンクールではこれまでの活動が評価され、事業者部門で優秀賞を頂くことができ、大変うれしく思います。今後は廃棄物そのものを減らす"リデュース"に力点をおいた取組みを進めて行きたいと思います。

廃棄物処理業者との連携

排出した廃棄物は廃棄物処理業者（リサイクル業者）との連携により、再資源化を行っていますが、当社は自ら排出した廃棄物を確実かつ、より良い形で再資源化するため、定期的に再資源化の現場確認を行っています。

廃棄物処理現場の確認

ゼロエミッションコンクール優秀賞受賞

当社のゼロエミッション活動の成果が認められ、福島県が主催するゼロエミッション活動提案コンクールにて事業者部門の優秀賞を受賞することができました。

表彰式

記念品の楯

ペーパーレス会議室
会議資料を紙で配布する必要がなく、紙の使用量を大幅削減。

発泡スチロールのリサイクル
発泡スチロールは社内で溶解後、固形化することで体積を極小化、輸送効率を向上した上で、プラスチックの原料として再資源化しています。

再資源化を推進し、最終処分場への排出をゼロにすること。
（再資源化率99.7%以上）

土壌汚染・水質汚染防止

当社では、土壌や水質の汚染を防止する為、リスク管理を徹底しています。重油タンクの周りには、給油時の万が一の重油漏洩に備え、防油堤を設置し、土壌へ重油が流れ出ないよう工夫すると同時に、そのような緊急事態に備えた、緊急事態対応訓練を年に1回実施しています。

緊急事態訓練

防油堤

また、水質の汚染を防止する為、十分な大きさの浄化槽を複数設置し、浄化能力を強化すると同時に、各浄化槽の水質を常時監視できるシステムを導入しています。

■ 各拠点の水質状況

	自主基準値	いわき事業所	好間工場	小野町工場	アルパインプレシジョン
水素イオン濃度（pH）	6.1-8.2	7.1	7.2	7.3	6.9
BOD（mg/l）	60以下	15.1	9.6	11.0	5.4
SS（mg/l）	70以下	20.3	12.0	2.0	26.0

騒音対策

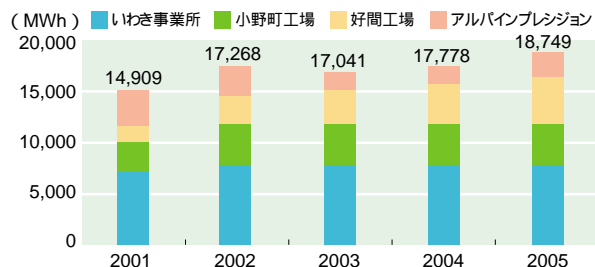
騒音を発生するエアーコンプレッサーを防音室の中に設置。防音材を使用することで、外部への騒音漏れを防いでいます。

騒音対策工事

アルパインの事業所が直接的に与える環境負荷の内、特に大きなものはエネルギー消費と廃棄物の排出です。
これらの環境負荷を低減する取組みを行っています。

地球温暖化防止

CO_2に代表される地球温暖化ガスを削減する為、アルパインは電力使用量の削減に取組んでおります。2005年は事業規模の拡大や新規設備導入などの影響で絶対量は増加しましたが、原単位比では約7%改善することができました。

■ 電力使用量のトレンド

電力集中管理システム
使用電力量やフロアの室温をリアルタイムに把握し、空調をコントロールすることで効率的なエネルギー使用が可能。浄化槽の水質も常時監視。

節水
お手洗いでの水の使用を削減する為、節水ゴマを設置。

ボイラー工事
空調設備を省エネ型に入替え。

天井裏の断熱工事

窓ガラスに断熱フィルム加工
建物の断熱能力を向上させることにより、冷暖房効率を向上。

センサー付き換気扇
スイッチの消し忘れに備えて、センサーを利用した電源管理を実施しています。

自販機夜間停止
事業所内の自動販売機は、利用者のいない夜間は自動的に電源がOFFになるようにしています。

リスク管理

火災などによる人、物、環境への被害を予防、緩和する為、アルパインでは自衛消防隊を組織し、定期的に訓練を実施しています。また年に数回、消防署のご協力もいただきながら、より実践に近い形での消防訓練や、応急救護方法の訓練を行っています。

消防訓練

応急救護訓練

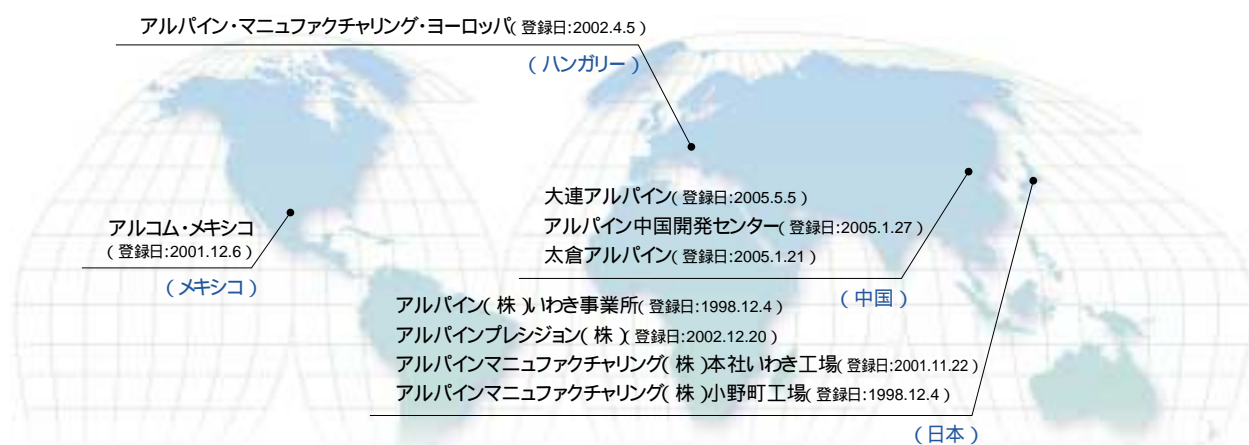
環境監査・環境会計

環境監査

アルパインは自らの環境保全活動の監視機能として年に2回の内部監査を実施しています。
内部監査では環境マネジメントシステムの運用状況の監査に加え、遵法の状況や、近隣住民の方からの苦情の有無について確認しています。2005年については、法規制への逸脱や近隣住民の方からの苦情はありませんでした。

また、このような内部監査に加え、より客観的な監査を行う為、年に1回第三者機関（ISO14001登録認証機関）によるISO14001の審査を受審しています。2005年は各拠点にてISO14001:2004年改訂版への移行審査を受審しました。

第三者機関によるISO14001審査

■ ISO14001取得状況

環境会計

アルパインは2001年に「環境会計ガイドライン」を作成し、アルパイン(株)いわき事業所にて環境会計を導入致しました。

また、2003年には、より効果的な運用を目的に「環境会計ガイドライン」を改訂し、対象範囲を当社の子会社であるアルパインマニュファクチャリング(株)、アルパインプレシジョン(株)に拡大し、企業経営と環境保全の両立を目指す環境経営に役立てています。

■ 環境保全コスト　（単位:千円）

分類		主な取組みの内容	投資額	費用額	関連ページ
事業エリア内コスト	公害防止	公害防止の為のコスト	80,070	104,735	10
	地球環境保全	地球環境保全の為のコスト	39,260	36,431	11
	資源循環	廃棄物の削減・処理・リサイクルのコスト	0	17,268	9
上・下流コスト		製品等のリサイクル・回収・再商品化・適正処理	0	2,343	9
管理活動コスト		ISO14001取得や維持、教育・啓発に必要なコスト	0	26,767	12,16
研究開発コスト		環境保全に資する製品等の研究・開発コスト	12,020	82,937	6,7,9
社会活動コスト		自然保護、緑化、美化、景観等の環境改善、情報公開	0	8,964	16
環境損傷コスト		土壌汚染、自然破壊等の修復のためのコスト	0	0	—
合計			131,350	279,445	

■ 環境取組み効果

環境保全効果		関連ページ
はんだ鉛フリー部品の整備	99.5%整備完了	6
発泡スチロールレス梱包（顧客から特に指定のあるものは除く）	100%	6
低VOC、小型軽量、はんだ鉛フリーのメカニズム製品の開発	4モデル	7
その他環境配慮型製品の開発	多数	7
化学物質管理データベース部品情報整備	10,161件登録	8

（単位:千円）

環境保全対策に伴う経済効果		関連ページ
省エネ活動によるコスト	800	11
緩衝材のコスト削減	6,440	9
廃棄物リサイクル売却金額	116	10
合　計	7,356	

海外取組み事例紹介

アルパインが事業活動を行う、各国での環境保全取組みの事例をご紹介致します。

中国

●排気対策 【大連アルパイン】

塗装工程から発生する排気は、環境汚染や従業員の健康に影響を与える可能性があります。大連アルパインでは汚染の予防や従業員の健康に配慮し、排気ダクトなどの排気処理設備を整備しています。

排気処理ダクト

●騒音対策 【大連アルパイン】

2005年度は、大型のプレス設備の騒音による従業員や周辺環境に対する影響を軽減する為、防音対策を行いました。

プレス機の防音対策

●排水対策 【大連アルパイン】

生産規模の拡大に伴う、排水量の増加に対応する為、十分な処理能力を持つ排水処理施設を整備しています。その結果、定められた排水基準を余裕をもってクリアしています。

排水処理施設

●地域社会とのコミュニケーション 【大連アルパイン】

大連アルパインは、中国大連市が主催する世界環境デーのイベントに参加しました。

また事業所全体の環境保全取組みによる改善が評価され、大連市政府から大連市環境モデル企業に選定され表彰を受けました。

世界環境デー

●教育・啓蒙 【大連アルパイン】

従業員が参加する環境に関する書画や写真のコンクールを行いました。多くの従業員からのユニークな作品が数多く出品され、その中から最優秀作品や優秀作品を選出しました。

最優秀賞を受賞した絵画作品

●ISO14001:2004年版への対応　【太倉アルパイン】

太倉アルパインは、中国南部における一大生産拠点として、中国国内のみならず世界各国に輸出する製品を生産しています。2005年度はISO14001の2004年改訂版に対応し、いち早く認証を取得しました。生産工程においては鉛フリーはんだに対応した設備を整備するなど、環境に配慮した生産活動を行っています。

ISO14001認証取得

●事業所内の緑化　【太倉アルパイン】

2005年度は、事業所敷地内の緑化を行いました。芝生を植えるなどして、敷地の約60%を緑化することができました。

緑地

●環境配慮設計　【アルパイン中国開発センター】

アルパイン中国開発センターは、世界中のお客様にお届けする製品を設計する中国の設計開発拠点として、環境に配慮した製品の開発を行っています。

2005年も鉛フリーはんだを採用した製品など多数の環境配慮型モデルを製品化しています。

環境教育

タイ

●大気汚染防止・健康への配慮　【アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ】

生産ラインで使用するイソプロピルアルコールの大気放出を防止する為、回収ブースを設置しました。

回収ブース

●地域企業との協力　【アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ】

環境問題は、一企業の問題にとどまりません。

アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイでは環境問題について地域の企業との情報交換などを行いながら、環境問題に取組んでいます。

地域企業訪問

メキシコ

●成形部品の余剰成形材の再利用　【アルコムメキシコ】

アルコム・メキシコでは、ゼロエミッション活動の一環として、成形部品生産時の余剰成形材をリサイクルしています。

成形部品を生産する際にどうしても発生してしまう余剰成形部分を社内で生産治工具の材料として再利用することで、廃棄処理する量を大幅に削減しています。

欧　州

●環境に配慮した塗装工程開発　【アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパ】

塗料の多くには揮発性の有機化合物を使用している為、そこからの排気が、大気や人体に悪影響を与える可能性があります。アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパではそのような排気を浄化して排出しています。浄化にあたって、従来は水を大量に使用する装置を使用していましたが、節水や水質汚濁防止の観点から、水の使用を最小限に抑えることができる遠心分離装置を導入しました。

遠心分離装置

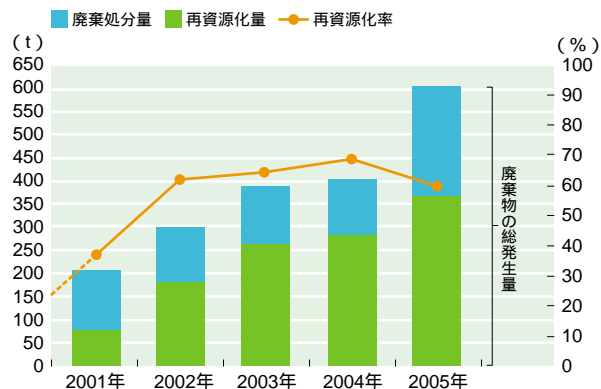
●地域との共生　【アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパ】

地域社会の一員として、近隣の森林の清掃活動を行いました。活動には従業員のみならず、その家族も含め、多くの関係者が参加しました。ペットボトルやガラス、プラスチックなど大量の廃棄物を回収し、森林の美化、保全に貢献することができました。

森林美化活動に参加したメンバー

●ゼロエミッション　【アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパ】

2000年より、廃棄物の再資源化の取組みを行い、ゼロエミッションを目指しています。2005年は生産規模や生産品目の増加に伴い、発生する廃棄物の量、種類が急増した為、再資源化率が前年に比べ低下してしまいました。2006年にはそれらの廃棄物の発生抑制と発生した廃棄物の再資源化ルートを構築することで、改善する計画です。

■ 廃棄物の状況

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
廃棄処分量(t)	125.9	112.0	139.8	123.6	241.5
再資源化量(t)	80.5	185.1	258.2	283.6	366.8
再資源化率	39.0%	62.3%	64.9%	69.6%	60.3%

欧州生産拠点として、環境を保全し、地域社会に貢献します。

Environmental Specialist
Jozsef Bodos

アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパはアルパインの欧州生産拠点として、欧州域内で販売する製品の生産を中心に事業活動を行っています。事業活動を行う上で、廃棄物やエネルギー使用などの環境負荷を低減する為、2002年にはISO14001を取得し、環境保全活動を推し進めてきました。

最近では益々厳しくなる欧州の規制に対応する為、生産工程や廃棄物の再資源化に新しい技術を積極的に導入しています。さらに、これからは地域社会の一員として、地域貢献活動や文化活動にも力を入れていく計画です。

環境コミュニケーション

環境保全の継続的改善の為には、従業員一人一人が、地球社会の一員として、環境保全活動に取組むことが重要と考え、社内の教育・啓発に注力しています。また、アルパインの環境保全取組みを社会の皆様にもご理解いただけるよう、社会に見える形で公開しています。

環境教育・啓発

全従業員への環境一般教育に加え、各部門に設置された環境スタッフへの専門教育や内部環境監査員養成教育などを実施しています。

また、より高度な知識を要する業務にあたる従業員は、外部の認定資格を取得しています。

各部門の代表者への環境教育

新入社員向け環境教育

内部環境監査員養成教育（2日間コース）

公的環境資格取得者一覧

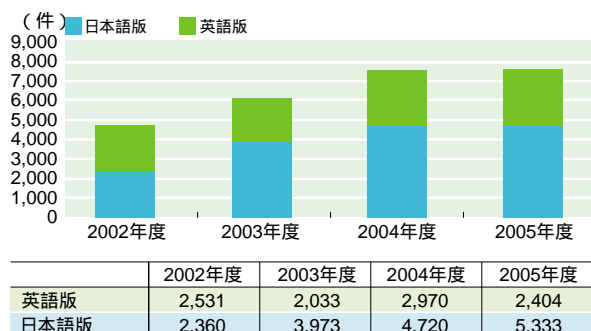
	資格名称	有資格者数	2005年取得者数
外部認定資格	有機溶剤作業主任者	19人	2人
	鉛作業主任者	11人	0人
	ボイラー技師	4人	1人
	危険物取扱者	9人	1人
	特別管理産業廃棄物管理責任者	12人	0人
	衛生管理者	6人	0人
	エネルギー管理員	2人	0人
	防火管理者	8人	1人
	環境マネジメントシステム審査員補	5人	1人
	内部環境監査員	80人	15人

情報開示

当社は、情報公開を重要な企業活動の一つと位置付けています。環境報告については、2002年から当社ホームページにて公開しています。2004年からは環境報告書を発行し、より詳細な情報を公開し、多くの方に当社の環境保全活動をご覧いただいています。なお、環境報告書はバックナンバーも含め、ホームページ上でもご覧いただけます。

アルパイン環境レポートアクセス件数

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
英語版	2,531	2,033	2,970	2,404
日本語版	2,360	3,973	4,720	5,333

アルパイン環境レポートURL
http://www.alpine.com/j/corporate/environment

過去のアルパイン環境報告書

地域社会への貢献

アルパインは、地域で行われる各種イベントへのサポートや
地域に開かれた形での事業所内でのイベント開催に加え、地域清掃、献血活動など企業市民としての
役割を真摯に追求し、皆様に必要とされる企業を目指します。
また、従業員自らが主体性を持って取組む環境保全などのボランティア活動を支援する為、
多目的特別休暇を設けております。

●いわき事業所内での献血

アルパインでは定期的に事業所内での献血活動を行っています。

2005年は計3回実施し、約200名の従業員が自主的に参加しました。

●福島県いわき市の海岸清掃

アルパインでは毎年、地域の海岸清掃を実施しています。2005年の海岸清掃には従業員やその家族など、100名以上が参加し、海岸をきれいにすると同時に、自然環境の大切さを感じることができました。

●地域イベントのサポート

2005年は大変多くの学生が参加する吹奏楽コンクールをサポートしました。

●アルパイン夏祭り

毎年8月に開催する夏祭りには従業員やその家族、地域住民の皆様など多数ご来場いただいています。2005年は10,000人を超える方々がご来場されました。

〈その他の社会貢献活動〉

- 地域のバレーボール大会への協賛
- いわき市への太陽電池式時計台の寄贈
- 工業団地内の清掃
- 各地の災害への義援金の寄付　　など

お客様との関わり

アルパインはお客様に購入いただいた製品を末永くご愛用いただけるように、様々なサービスの提供を行っています。お客様の満足を会社の活力として捉え、お客様にとって価値の高い製品の開発や役に立つ情報提供やサポートなど、CS（CustomerSatisfaction：顧客満足）品質を高めるための活動を進めています。

●インフォメーションセンター

毎日、お客様の問合せを受け付けるインフォメーションセンターでは、電話のつながりやすさが第一に求められます。顧客対応のかなめとなるCTIシステムを刷新し、増加する問合せに十分な体制を整えました。お客様からも「つながりやすくなった」との声をいただくなど、うれしいコメントが寄せられるようになりました。（CTI:Computer Telephony Integration、コンピュータによる回線マネジメントシステム）

なお、インフォメーションセンターを通じて得られたお客様の個人情報は当社の厳格な個人情報保護方針により漏洩防止を徹底しています。

インフォメーションセンター

●Webサポート

お客様のご要望が多い取扱説明書やシステムの結線図などの情報は、ホームページにて提供しています。

その他、ITテクノロジーを活用して、車種別音場設定データやモニターTV用の壁紙、FAQ（よくある質問集）など、お客様のお役に立つデータ、情報も提供しています。

HPイメージ

●満足度調査

より良い製品やサービスをお客様にお届けする為、当社では、お問合せ電話の入電分析、アフターサポートに関する調査、問合せ窓口のオペレーターの応対などについて、定期的にお客様の満足度調査を実施しています。調査結果をもとに製品だけでなく、サポート、サービスまで含めた総合的な改善活動を行なっております。

満足度調査報告書

●ものづくりへの還流

CS活動を通じて得られたお客様の声は、様々な形で反映されていきます。問題は即座に取り上げ、改善プロセスを進めます。その他にも例えば、一般的な要望については定期的にエッセンスをまとめ、テーマ別に掲示板システムへ掲載されます。部門を越えてのディスカッションを促進し、より良い製品づくりにつなげています。

「お客様の声」データベースシステム

●活動の成果

お客様の声に対応すべく製品やサービスの改善に真摯に取組んできた結果、アルパインはその製品やサービスに対してさまざまな権威のある賞を受賞することができました。今後ともお客様の期待に応えるため、より一層のCS活動を推進してまいります。

当社の受賞情報については下記URLからご覧いただけます。
http://www.alpine.com/j/corporate/award/index.html

従業員との関わり

アルパインは従業員との間にオープンで誠実な関係を維持することを心がけています。

●従業員の福利厚生

アルパインは福利厚生の一環としてカウンセリングルームや従業員が24時間利用可能なトレーニングジムを設置しています。また、定期健康診断や健康やライフスタイルに関するセミナーを開催し従業員の心身の健康の維持に努めています。

トレーニングジム

従業員は24時間利用可能。
2005年は述べ約7000名の従業員が利用しました。

●従業員満足度調査

アルパインは働きやすい職場づくりの為、従業員満足度調査を年に1回実施しています。調査結果は分析、フィードバックされ然るべき対策が取られると同時に、その進捗状況を毎年確認しています。

●社内イベント

職場の同僚と普段の仕事以外でも楽しい時間を過ごすことができるよう、従業員が自由に参加することができるさまざまな社内イベントを実施しています。

2005年には大規模なスポーツイベントを行い、多くの従業員が参加し、運動や会社の同僚たちとの交流を楽しみました。

スポーツイベント

約1,300名の従業員やその家族が参加し競技を楽しみました。

●多様な個性の尊重

グローバルに事業を展開する当社では、文化や考え方の異なるさまざまな国の従業員が働いています。

従業員一人一人の個性を尊重、理解し、活かすことができる職場環境や企業風土を創出することが、企業にとっての「多様性」を実現する上で最も重要なことだと考えます。

●経営層と従業員とのコミュニケーション

経営層と全世界の従業員とのコミュニケーションの場として月例朝礼を実施すると同時に、一人一人の従業員からの質問を受け付け、社長が直接回答するシステムを導入しました。毎月たくさんの質問や提案が寄せられ、活発な意見交換がされています。

**経営層と従業員の
コミュニケーションシステム**

コンプライアンスへの取組み

世界各国の法令を遵守し公正な事業活動を行うことは、株主、お客様、地域社会に対する最も基本的な責務と考えます。アルパインでは、そのような責務を果たす為、コンプライアンス体制を構築し、日常の業務に即した予防活動の充実を図っています。

コンプライアンス体制

2002年6月、リスクマネジメントとコンプライアンスとを一体として推進するリスクマネジメント&コンプライアンス委員会（RC委員会）を設置しました。また2003年からは、毎年9月にグローバルRC会議を開催し、全役員およびグループ関係会社の責任者が当社のリスク・コンプライアンス課題を共有することによって、日々の業務執行における予防活動につなげています。

RC委員会

コンプライアンス監査

業務活動におけるコンプライアンス・ポリシーの遵守状況チェックの仕組みとして、アルパインでは定期的にコンプライアンス監査を実施しています。

2005年度は国内関連会社のみならず、海外拠点についてもコンプライアンス監査を行いました。監査の結果はRC委員会および最高経営層に報告され、迅速な問題解決と改善を図っています。

■コンプライアンス取組みの流れ

倫理ホットライン

監査役を窓口として、全従業員および業務委託先から倫理問題に関する相談を受け付ける「倫理ホットライン」を設置しています。

相談者のプライバシーや秘密は、相談者が不利益を被ることが無いように社内規定で保証されている為、気軽に相談しやすい開かれた窓口として機能しています。

倫理・コンプライアンス教育

コンプライアンスや倫理の意識が定着する為には継続的な教育・啓蒙活動が極めて重要です。アルパインでは、各部門の教育計画の一環として、コンプライアンスセミナーを実施しています。

新入社員向けセミナー

コンプライアンスセミナー

アルパインでは、関連会社も対象として、個人情報保護法、独占禁止法、下請法など、業務に関係する法律について定期的に啓蒙セミナーを実施しています。

新入社員向けセミナー

新入社員研修のプログラムにコンプライアンス研修を実施しています。研修では技術者倫理をテーマとしたケーススタディを取り入れ、エンジニアが重大な不具合に直面した場合の問題解決に向けた組織行動のあり方について討議しています。

役員・部長向けセミナー

毎年定期的に、コンプライアンス分野の専門家を外部から講師としてお招きし、講演会を開催しています。

法令遵守は最低限の責務

RC委員会
知的財産部
田中　純

会社経営における法令の遵守は、企業としての最低限の責務ですが、世界中の多くの国々で製品を販売している当社は、各国の法律、慣習、文化を尊重した上で、コンプライアンス活動に取組むことが必要です。

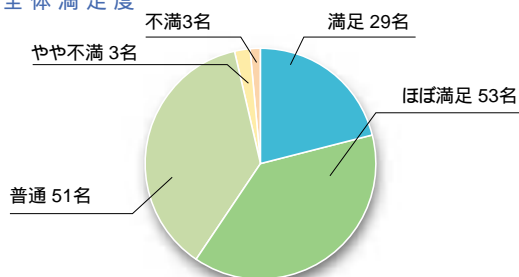
当社のコンプライアンス活動は国内外で着実に実を結んでいますが、時代の変化に率先して対応するにはまだまだ取組みの手を緩めるわけにはいきません。今後は、内部統制の機能を更に充実させ、間違いを起こさない仕組み作りに力を入れていきたいと思っています。

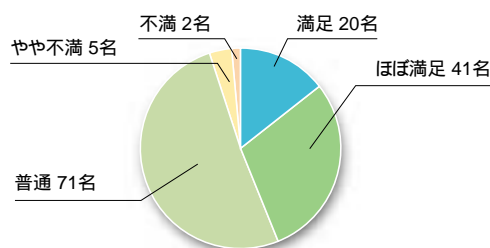
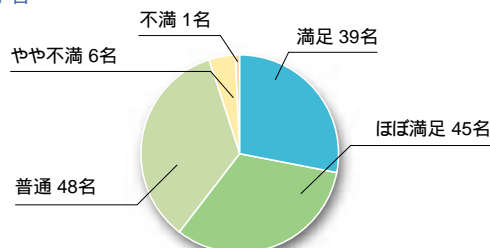
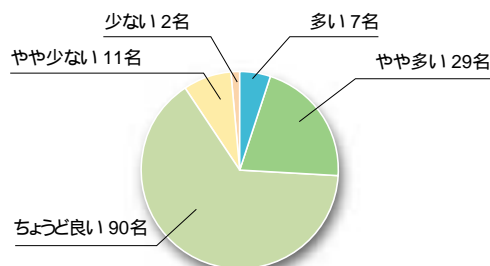
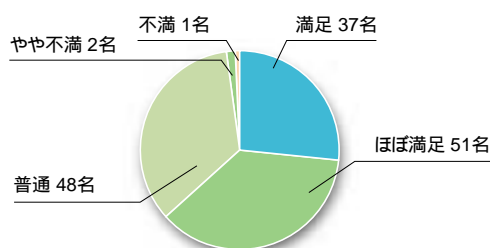
皆様からの声

2005年に発行した「アルパイン環境報告書2005」をご覧になった皆様からアンケートという形でいただいた、ご意見、ご感想をまとめました。

皆様からいただいた貴重な声は今後の環境保全活動や環境・社会報告書の制作に反映させていただきます。

アンケート結果　N=139

全体満足度

興味のあった項目	
	① はんだ鉛フリー製品の開発
	② ゼロエミッションへの取組み
	③ 海外取組み事例紹介
	④ 地域社会への貢献
	⑤ 環境取組み計画と実績

分かりやすさ

内容

ページ数

デザイン

〈主なご意見とアルパインの対応〉

【ご意見】再資源化の取組みは評価できる。
自分としてもできることから環境取組みを行っていきたい。
【対　応】ありがとうございます。当社は今後もゼロエミッション活動を継続すると同時に、廃棄物の発生そのものの削減を図ります。

【ご意見】やや文章が多すぎる感じがします。
【対　応】文章は簡潔な表現とし、写真やグラフの数を増やして、見て分かりやすい構成を心がけました。

【ご意見】環境配慮型製品に関する掲載が少ないように思います。
【対　応】環境配慮型製品に関するページを増やし、掲載内容を充実させました。

常務取締役
品質保証・環境担当
田邉浩邦

本報告書の発行にあたって

当社にとって3回目となる環境報告書の発行にあたり、今年は報告書の名称を「環境・社会報告書」と変更し、内容も従来の環境報告だけでなく、社会性報告という側面を取り入れることで内容の充実を図りました。企業の社会的責任には環境保全活動に限らず、さまざまな側面があります。そうした社会的責任を果たすため、今後、活動の範囲を拡大すると同時にその情報を皆様に広くご理解いただくための本報告書も充実させていきたいと考えますので、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

サイトデータ（各年、1月1日〜12月31日までのデータ）

●アルパイン株式会社　本社
所在地:東京都品川区西五反田1-1-8

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	-	278,455	306,650
ガス使用量（m^3）	-	-	-
重油使用量（kℓ）	0	0	0
水使用量（m^3）	-	-	-
廃棄物発生量（kg）	-	-	-
廃棄物排出量（kg）	-	-	-
廃棄物最終処分量（kg）	-	-	-

●アルパイン株式会社　いわき事業所
所在地:福島県いわき市好間工業団地20-1

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	8,024,690	8,093,330	8,237,970
ガス使用量（m^3）	12,868	13,387	17,134
重油使用量（kℓ）	94	90	76
水使用量（m^3）	61,653	60,508	60,443
廃棄物発生量（kg）	429,937	435,082	472,908
廃棄物排出量（kg）	398,164	394,385	447,505
廃棄物最終処分量（kg）	41,556	11,131	3,543

●アルパインマニュファクチャリング株式会社　本社/好間工場
所在地:福島県いわき市好間工業団地3-10

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	2,711,121	3,207,512	3,468,227
ガス使用量（m^3）	1,405	1,296	1,190
重油使用量（kℓ）	0	0	0
水使用量（m^3）	7,511	9,443	9,329
廃棄物発生量（kg）	445,347	537,718	651,441
廃棄物排出量（kg）	441,957	534,518	648,291
廃棄物最終処分量（kg）	58,312	11,148	828

●アルパインマニュファクチャリング株式会社　小野町工場
所在地:福島県田村郡小野町大字南田原井字貢中42

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	3,918,800	4,120,010	4,320,430
ガス使用量（m^3）	2,831	2,526	2,515
重油使用量（kℓ）	131	115	75
水使用量（m^3）	16,510	14,448	17,815
廃棄物発生量（kg）	443,393	344,450	304,908
廃棄物排出量（kg）	439,043	341,950	302,908
廃棄物最終処分量（kg）	88,256	18,119	2,603

●アルパインプレシジョン株式会社
所在地:福島県いわき市平赤井字反町48-1

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	2,324,600	2,266,740	2,479,600
ガス使用量（m^3）	4,919	2,766	2,885
重油使用量（kℓ）	0	0	0
水使用量（m^3）	6,359	5,631	5,436
廃棄物発生量（kg）	257,435	183,096	251,198
廃棄物排出量（kg）	257,435	183,096	251,198
廃棄物最終処分量（kg）	8,197	1,525	241

●アルパイン技研株式会社
所在地:福島県いわき市好間工業団地1-58

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	682,227	650,162	615,237
ガス使用量（m^3）	-	-	-
重油使用量（kℓ）	0	0	0
水使用量（m^3）	-	-	-
廃棄物発生量（kg）	-	-	-
廃棄物排出量（kg）	-	-	-
廃棄物最終処分量（kg）	-	-	-

●大連アルパイン
所在地:NO.2, Yingbin Road, Jinzhou Economical Development District, Dalian City, Liaoning Province, China

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	9,429,243	11,066,920	10,689,040
ガス使用量（m^3）	23,400	27,798	20,743
重油使用量（kℓ）	0	0	0
水使用量（m^3）	102,189	124,424	118,375
廃棄物発生量（kg）	-	-	-
廃棄物排出量（kg）	-	-	-
廃棄物最終処分量（kg）	-	-	-

●太倉アルパイン
所在地:NO.200, Shanghai East Road, Taichang Economic Development Zone, Taichang City, Jiangsu Province, China

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	-	1,823,428	4,976,924
ガス使用量（m^3）	-	-	-
重油使用量（kℓ）	-	-	4
水使用量（m^3）	-	-	-
廃棄物発生量（kg）	-	352,458	739,786
廃棄物排出量（kg）	-	352,458	739,786
廃棄物最終処分量（kg）	-	1,870	7,502

●アルパイン中国開発センター
所在地:8-6 Ruanjianyuan Road, Software Park, Dalian City, Liaoning Province,China

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	-	841,669	1,411,029
ガス使用量（m^3）	-	-	-
重油使用量（kℓ）	0	0	0
水使用量（m^3）	-	-	642,864
廃棄物発生量（kg）	-	-	-
廃棄物排出量（kg）	-	-	-
廃棄物最終処分量（kg）	-	-	-

●アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパ
所在地:H-2051 Biatorbagy, Vendel Park Budai UTCA 1, Hungary

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	4,895,880	5,460,312	7,239,548
ガス使用量（m^3）	-	-	346,417
重油使用量（kℓ）	-	-	-
水使用量（m^3）	-	-	12,335
廃棄物発生量（kg）	-	-	537,343
廃棄物排出量（kg）	-	-	537,343
廃棄物最終処分量（kg）	-	-	219,809

●アルコム・メキシコ
所在地: Avenda Industrial Parque Industrial Del Norte Ciudad Reynosa, Tamaulipas, Mexico

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	13,792,686	15,197,488	17,880,724
ガス使用量（m^3）	-	-	-
重油使用量（kℓ）	0	0	0
水使用量（m^3）	-	-	-
廃棄物発生量（kg）	-	-	-
廃棄物排出量（kg）	-	-	-
廃棄物最終処分量（kg）	-	-	-

●アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ
所在地:210 Moo 13 Suwansorn Road, Tambol Dong-Khee-Lek, Amphur Muang Prachinburi Province 25000 Thailand

	2003年	2004年	2005年
電力使用量（kWh）	3,757,850	4,689,879	5,184,430
ガス使用量（m^3）	463	419	467
重油使用量（kℓ）	80,946	92,244	79,103
水使用量（m^3）	21,471	30,362	30,838
廃棄物発生量（kg）	76,440	183,977	214,754
廃棄物排出量（kg）	76,440	183,977	214,754
廃棄物最終処分量（kg）	76,440	183,977	214,754

※表中の「ー」は該当しない項目、又は他のサイトと比較可能なデータを保有しない為、掲載していないものです。

アルパイン株式会社

発行部署 品質技術部 環境事務局
〒970－1192
福島県いわき市好間工業団地20－1

本報告書はアルパインのホームページでもご覧いただけます。

URL http//:www.alpine.com

・古紙配合率100% 白色度70%の再生紙を使用しています。
・石油系溶剤を全く使用しないVOC（揮発性有機化合物）ゼロの植物油インキを使用しています。
・印刷工程での有害廃液を出さない、水なし印刷で行っています。

2006年6月発行

ご意見・ご感想をお聞かせください。

「アルパイン環境・社会報告書 2006」 をお読みいただきありがとうございました。
皆様からのご意見・ご感想をもとに、今後の活動や報告書の内容を充実させていきたいと思います。
本報告書に対するアンケートにご協力いただき、アルパイン株式会社品質技術部環境事務局まで FAX にて
お送りいただければ幸いです。　なおアンケートは弊社 WEB サイトからも回答いただけます。

【WEB サイト URL　http://www.alpine.com/j/corporate/environment/index.html】

1. どのような立場でこの報告書をご覧になっていますか?

□お客様　□お取引先　□投資家・投資機関　□事業所近隣住人　□報道関係
□企業や団体の CSR 担当者　□行政関係　□学生　□ NGO・NPO　□当社従業員
□その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　）

2. アルパインの環境保全活動・社会活動について、ご存知でしたか?

□知っていた　□少し知っていた　□知らなかった

3. 報告書についての満足度

内容	□満足	□ほぼ満足	□普通	□やや不満	□不満
ページ数	□多い	□やや多い	□ちょうど良い	□やや少ない	□少ない
分かりやすさ	□満足	□ほぼ満足	□普通	□やや不満	□不満
デザイン	□満足	□ほぼ満足	□普通	□やや不満	□不満
全体の満足度	□満足	□ほぼ満足	□普通	□やや不満	□不満

4. 特に興味を持たれたページはございますか?

(　　　　) ページ
(項目:　　　　　　　　　　　　　　　　　)

理由

5. アルパインの環境保全活動・社会活動について、どのようにお感じになられましたか?

□よくやっている　□良い方だ　□普通　□少し劣る　□もう少し頑張ってほしい

**6. その他、本報告書やアルパインの環境保全活動・社会活動について、
ご意見やご感想などがございましたらご記入ください。**

ご協力ありがとうございました。 お差し支えなければ下記欄にもご記入ください。

(お住まいの地域)
□日本　□日本以外のアジア　□北米　□南米　□ヨーロッパ　□オセアニア
□アフリカ　□その他の地域

アルパイン株式会社　品質技術部　環境事務局　**FAX 0246-36-8274**